

平成13年度会員登録数

	支部名	一般		小学生		中学生		高校生		学 連		合 計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
1	北海道	184	2721	16	246	247	7887	160	3335			607	14189
2	青 森	53	678	6	107	115	5144	51	1100			225	7029
3	岩 手	67	1585	20	314	158	6552	91	2613			336	11064
4	宮 城	70	675	12	194	185	7480	92	2439			359	10788
5	秋 田	25	543	6	77	78	3611	51	1332			160	5563
6	山 形	28	513	10	217	72	3883	46	1277			156	5890
7	福 島	56	555	11	218	79	4178	84	1810			230	6761
8	茨 城	48	701	4	55	216	12451	88	1951			356	15158
9	栃 木	44	570	3	53	157	9610	52	1070			256	11303
10	群 馬	45	1014	8	319	165	9540	57	1352			275	12225
11	埼 玉	278	4865	27	828	291	15373	229	4438			825	25504
12	千 葉	136	2133	12	280	348	19767	131	2946			627	25126
13	東 京	145	3071	3	87	172	6343	255	3935			575	13436
14	神奈川	117	1437	7	326	343	18571	145	2923			612	23257
15	山 梨	62	776	9	188	59	2579	35	959			165	4502
16	新 潟	82	1214	17	383	150	7187	79	1663			328	10447
17	長 野	22	471	10	186	67	3129	82	1858			181	5644
18	富 山	21	478	10	254	55	2458	33	1048			119	4238
19	石 川	57	726	19	352	80	4432	49	1057			205	6567
20	福 井	40	701	5	107	51	2620	19	643			115	4071
21	静 岡	119	1611	15	518	358	15893	92	1709			584	19731
22	愛 知	136	2606	13	429	325	22041	143	5404			617	30480
23	三 重	47	578	11	266	201	8445	50	1317			309	10606
24	岐 阜	52	754	15	369	258	9229	58	1781			383	12133
25	滋 賀	27	549	11	354	85	3724	42	1720			165	6347
26	京 都	100	978	16	426	146	7553	59	1320			321	10277
27	大 阪	109	2030	15	283	307	15293	195	3176			626	20782
28	兵 庫	82	1380	6	149	303	20231	160	4918			551	26678
29	奈 良	37	971	8	220	68	3423	37	978			150	5592
30	和歌山	62	758	4	210	118	5457	40	1120			224	7545
31	鳥 取	31	439	19	314	56	2344	28	627			134	3724
32	島 根	51	552	5	150	64	2947	39	1021			159	4670
33	岡 山	79	637	15	247	154	8594	81	2376			329	11854
34	広 島	76	664	13	233	129	5803	96	1855			314	8555
35	山 口	79	1042	6	228	145	7523	74	1723			304	10516
36	徳 島	25	494	7	123	104	3007	36	584			172	4208
37	香 川	22	279	4	120	58	3141	31	808			115	4348
38	愛 媛	38	459	5	120	105	4849	78	1124			226	6552
39	高 知	30	377	7	104	52	1625	30	500			119	2606
40	福 岡	58	824	5	81	240	13597	98	2126			401	16628
41	佐 賀	31	393	11	183	78	3800	48	831			168	5207
42	長 崎	43	1091	6	148	175	7649	113	2086			337	10974
43	熊 本	65	1004	10	160	164	6239	63	1452			302	8855
44	大 分	47	570	11	248	76	2863	37	694			171	4375
45	宮 崎	56	745	14	290	169	3379	45	977			284	5391
46	鹿児島	88	1103	29	297	192	4791	89	1183			398	7374
47	沖 縄	22	269	8	102	82	2162	31	553			143	3086
48	日本学連									497	6299	497	6299
49	日本連盟	1	12									1	12
50	合 計	3193	48596	504	11163	7300	348397	3722	83712	497	6299	15216	498167
	昨年度	3103	48343	442	9483	7673	329026	3830	82644	480	6012	15528	475508

(平成14年2月14日現在)



第 4 号 平成14年2月20日発行

財団法人日本ソフトテニス連盟

第56代全日本総合 チャンピオン

男子 中堀成生・高川経生組(広島・NTT西 日本中国)

女子 坂下真知子・濱中洋美組(学連・日本体育大学) が制覇

平成13年度

第56回天皇賜杯・皇后賜杯全日本総合ソフトテニス選手権大会

平成13年9月 21 日(金)～23 日(日) 愛媛県松山中央公園テニスコート



男子 中堀成生・高川経生選手

中堀・高川組は平成7・8・9・11年度に続き5回目の優勝。
木口利充・横江忠志組の5回優勝に並んだ(昭和52・56・58・59・60年度)



女子 坂下真知子・濱中洋美選手

坂下・濱中組は初優勝。女子学連では平成5年度の井上朋美・松井朋恵組
(神戸松蔭女子学院大学)以来9回目

第3回 東アジア競技大会 ソフトテニス競技会 表彰式・祝勝会



写真
挨拶する海部会長



写真
前列左から 濱中、河野、辻選手、林副会長、海部会長、市原JOC強化本部長、横江団長、大野監督、八谷、水上選手
後列左から 東選手、川上トレーナー、北本コーチ、大橋コーチ、神崎監督、小峯、土師、中堀選手、若梅コーチ、高川選手

第3回東アジア競技大会ソフトテニス競技会で健闘し男女団体戦、男子個人ダブルス・女子個人ダブルス・シングルスと6種目中5種目の金メダルを獲得した日本選手団の表彰式・祝勝会が平成13年全国評議員会の前日、12月1日(土)午後6時から中央大学駿河台記念館において盛大に開催されました。

当日は海部俊樹会長、JOC市原則之強化本部長ほか100名近い関係者が出席し、ちょうど内親王殿下ご誕生のニュースも伝わって、華やかな、素晴らしい祝賀会となりました。

「21世紀 輝け ソフトテニス」新長期基本方針 (2002～2006) 決定

平成13年12月2日に開催された平成13年度評議会において平成14年度から5年間の日本連盟長期基本方針が次のとおり決定されました。今後はこの基本方針にもとづき主な事業の展開がはかれることになります。

長期基本方針 (2002～2006)

〈趣旨〉

当連盟は昭和58年度(1983)以来長期基本方針を定め、その方針にそってソフトテニスの普及振興を図ってきたが、現在の長期基本方針の期間は平成9年度から13年度(1997～2005)であるため、14年度から18年度(2002～2006)の長期基本方針を策定する。

■新長期基本方針の理念

従来の基本方針を継続しつつ、時代の変化に率先して対応を図る、時代の変化への対応とは次の各項を指すものとする。

- 1.国(文部科学省、日本体育協会等)のスポーツ振興基本計画に的確に対応を図る。
具体的には学校・実業団中心の普及体制から地域・クラブ等と共存する普及体制への変化に対応すること。
- 2.プレーヤーなど関係者中心の大会消化型、自己満足型運営から主要大会については観客、一般大衆、マスコミなどにもアピールできる事業のあり方に対応する。
- 3.スポーツ界におけるアマチュアリズムの衰退傾向からコマーシャルイズムの増長傾向への変化に対応する。
- 4.国際化の状況やオリンピックとの関わりがスポーツ界における競技の一般的格付や競技者の意欲向上に大きな影響力をもつようになってきていることに積極的に対応する。
- 5.IT革命といわれる情報処理の顕著な変化に率先して対応し、実務の効率化、迅速化や広報活動の拡充を図る。

■新長期基本方針の主要課題

「21世紀 輝け ソフトテニス」(キャッチフレーズ)

1. 競技性の向上
(1)競技性の向上を図るため「競技規則」を見直す。合わせて簡明化を図る。
(2)施設に関する基準を「競技規則」から分離して公認コート基準を含めて見直し、国際的に適用する基準を制定する。
(3)競技レベルの向上を図るため審判に関するあり方を見直し、改定する。
*スピーディーなマッチの進行とトラブルの防止を徹底するため「審判の要領」および「競技規則」に関し、審判団の編成基準、抗議、提訴、警告、退場、資格停止などのあり方を再検討し、「競技規則」から分離して「審判規則」を制定する。
*審判員の一層のレベルアップを図るとともに主要大会における派遣審判制度を検討する。
- (4)大会の見直しおよび観客の視点に立った大会運営の改善
*全日本総合選手権大会の上位戦は、テレビ放送と集客の視点からインドアで実施する。合わせて入場料を徴収し、これを賞金に充てることを検討する。
*地域クラブ育成と実業団チームの減少傾向を勘案し、全日本実業団選手権大会と全日本クラブ選手権大会を統合し、さらに大学、高校などのチームを加えて全日本団体選手権大会に再編する。
*日本スポーツマスターズ(Sports Masters Japan)の正式種目実施を推進し、実施された場合は全日本社会人選手権大会と全日本シニア選手権大会の見直しを図る。
*選手国際協力金を廃止するとともに、大会参加料を合わせて見直す。またこれにより大会開催地関係費として参加料を還元している大会は増額できるよう配慮する。
*団体戦、個人戦のスコアボードおよび選手のゼッケンを標準化し、規則に定める。
- (5)マスコミへの積極的な対応
*全日本総合選手権大会のNHK放送が継続できるよう万全を期す。

2. 競技力の向上

- (1)世界No.1の実力維持
*ナショナルチーム、ジュニアナショナルチームの一層の強化を図る。
*JOCが提唱する一貫育成システムを研究し、選手強化に取り入れる。

- (2)選手・指導者の意欲向上
*顕彰制度を充実させる。
*初歩的指導の教材を充実させる。
*選手、指導者の各種報酬を基準化し、的確な運用を図る。
- (3)指導者バンク(登録制度)を検討、創設する。
- (4)競技者規程の抜本的改訂

3. 国際性の向上

- (1)75以上の国際連盟加盟国を目標に国際普及を推進する。
- (2)海外において長期間(3ヵ月以上)選手強化指導できる制度と指導者育成を推進する。
- (3)国際大会の拡充と大会運営の標準規定化を推進する。
- (4)国際関連諸規程の策定、設備を図る。
- (5)国際ソフトテニス組織の運営のあり方と財源を見直し、活性化を図る。
- (6)国際関連団体および国際総大会への積極的な参加を図る。

4. 大衆性の向上

- (1)生涯スポーツとしてすべての年齢層に対する普及を促進する。
- (2)小学生クラブづくりを一層促進する。
- (3)中学校・高等学校の部活動活性化の検討と促進を図る。
- (4)地域型スポーツクラブの体制づくりと学校・実業団を中心とする現体制との共存を促進する。
- (5)ソフトテニスの歌を制定する

5. 広報力の向上

- (1)テレビ放送を一層充実する。
*全日本総合NHK放送の継続を図る。
*衛星放送チャンネルのレギュラー放送を継続する。
- (2)新聞報道の充実を図る。
- (3)ソフトテニスサイトジャパンの活用により広報活動を充実する。
- (4)ホームページの充実とそれに伴う機関誌「ソフトテニス」「会員報」の見直しを行う。
- (5)広報要員の育成を図る。

6. 組織、財政の強化

- (1)ソフトテニスサイトジャパンの構築と円滑な運用による組織の強化と実務の迅速、効率化を図る。
- (2)会員登録制度の定着化を促進する。(小・中学生の会費見直しを含む)
- (3)会員登録数による大会参加組数等の見直しを行う。
- (4)メーカー等公認、推奨基準の明確化と運用促進を図る。
- (5)各種スポンサー獲得推進とそのための諸制度整備を図る。
- (6)JOC・日体協との連携を強化する。

7. 記念事業の実施

- 日本ソフトテニス連盟創立80周年式典(1924年創立)を実施する。

平成14年度事業計画書

1. 会員登録制度の徹底をはかる。
(1)登録状況の把握
(2)傷害補償制度の徹底
(3)会員報の発行
2. 競技力向上に関し、次の事業を実施する。
(1)ナショナルチームの強化合宿
(2)ジュニア・ナショナルチームの強化合宿
(3)競技力向上のための海外遠征
(4)強化スタッフの各種大会視察
(5)競技力向上のための調査・研究
3. 指導者養成のために、次の事業を実施する。
(1)全国小学生指導者研究会
(2)公認スポーツ指導者研修会
(3)小・中学生指導者を対象とする派遣講習会
(4)公認スポーツ指導者制度改訂に関する対応の検討。
4. アンチ・ドーピングに関し、次の事業を行う。
(1)アンチ・ドーピングに関する啓蒙活動
(2)国内大会におけるドーピング検査の実施

5. 地域グループ育成のため、各支部の審判・指導者研修会や地域クラブ・ジュニアクラブの育成等に対し助成を行う。

6. 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。
(1)平成14年度大会日程および会場

7. 地域における競技会開催に、次のとおり補助を行う。
(1)9地区選手権大会
(2)地区高校選抜大会
(3)10地区中学選手権大会
(4)支部中学大会
(5)支部レディース大会
(6)超壮年東西対抗大会
(7)壮年東西対抗大会
(8)全日本学生同好会大会

8. 技術等級制度に関し、次の事業を実施する。
(1)名誉指導員およびマスターの認定
(2)技術等級の認定

9. 公認審判員制度に関し、次の事業を実施する。
(1)マスターレフェリーの認定
(2)マスターアンパイヤーの認定
(3)1級審判員の検定会、研修会の実施
(4)1級審判員の認定(新規、更新)
(5)2級審判員の認定(新規、更新)
(6)ジュニア審判員の認定

10. 用具・施設の公認に関し、次の事業を行う。
(1)ラケットの証紙、ネットの証布の発行
(2)新規公認、更改手続き

11. 機関誌「ソフトテニス」を毎月発行する。

12. 広報に関し、次の事業を行う。
(1)スポーツ衛星チャンネル「ガオラ」のレギュラー放送
(2)ソフトテニスサイトジャパンの構築とホームページの充実
(3)大会記録集の発行
(4)総合選手権大会のNHK テレビ放送の継続
(5)その他の広報活動

13. 各種表彰を、次のとおり行う。
(1)国内大会入賞者
(2)支部功労者
(3)優良団体
(4)優秀監督
(5)優秀選手
(7)全日本ランキング
(8)国際大会入賞者

14. 国際競技大会へ代表選手団を、次のとおり派遣する。
(1)第14回アジア競技大会
(2)日・韓・中ジュニア交流競技会

15. 国際大会等へ視察団を派遣する。

16. アジアシニア選手権大会の開催支援

17. 国際普及の促進に関し、次の事業を行う。
(1)各国におけるソフトテニス普及活動の指導および補助
(2)各国コーチ、選手の日本招聘
(3)用具、用品の支援
(4)支部等の国際普及活動への補助

18. 国際競技会への振興に関し、次の事業を行う。
(1)国際競技会への選手団派遣に対する各国支援

19. 国際ソフトテニス連盟、アジアソフトテニス連盟に活動の支援を促進する。

20. 長期基本方針にもとづく課題の検討と対策の逐次推進

平成14年度大会日程

	大会名	開催地	日程
主催大会	アジア競技大会日本代表予選会	熊本県・熊本市	5月3日(金)～ 5日(日)
	全日本シングルス選手権大会	広島県・広島市	6月8日(土)～ 9日(日)
	全日本実業団選手権大会	静岡県・静岡市	7月26日(金)～ 28日(日)
	全日本小学生選手権大会	石川県・能登町	8月1日(木)～ 4日(日)
	全日本シニア選手権大会	兵庫県・神戸市	8月30日(金)～9月1日(日)
	全日本社会人選手権大会	福井県・福井市	8月31日(土)～9月1日(日)
	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月7日(土)～ 8日(日)
	天皇賜杯・皇后賜杯・全日本選手権大会	新潟県・新潟市	9月21日(土)～ 23日(日)
	日本実業団リーグ	埼玉県・秩父市	11月8日(金)～ 10日(日)
	全日本クラブ選手権大会	埼玉県・秩父市	11月8日(金)～ 10日(日)
	日本リーグ	石川県・小松市	11月22日(金)～ 24日(日)
	全日本インドア選手権大会	大阪府・大阪市	15年2月2日(日)
共催大会	日本リーグ入替戦	愛知県・名古屋	15年2月8日(土)～ 9日(日)
	都道府県対抗全日本中学生大会	三重県・伊勢市	15年3月26日(水)～ 28日(金)
	全国小学生大会	千葉県・白子町	15年3月30日(日)～ 31日(月)
	ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月21日(金)～ 23日(日)
	西日本選手権大会(シニアの部)	沖縄県・沖縄市	6月29日(土)～ 30日(日)
	西日本選手権大会(一般・成年の部)	沖縄県・沖縄市	7月6日(土)～ 7日(日)
	東日本選手権大会	群馬県・高崎市	7月13日(土)～ 14日(日)
	全日本レディース大会(個人戦)	山形県・山形市	8月1日(木)～ 3日(土)
	全日本高校選手権大会	茨城県・水戸市	8月1日(木)～ 8日(木)
	全日本学生選手権大会	北海道・札幌市	8月10日(土)～ 15日(木)
	全国中学校大会	滋賀県・長浜市	8月18日(日)～ 20日(火)
	全日本レディース決勝大会	千葉県・千葉市	8月26日(月)～ 28日(水)
主管大会	スポーツ・レクリエーション祭	広島県・福山市	10月5日(土)～ 8日(火)
	全日本高校選抜大会	愛知県・名古屋	15年3月29日(土)～ 30日(日)
	日・韓・中ジュニア交流競技大会	日本・熊本市	8月23日(金)～ 29日(木)
	第57回国民体育大会	高知県・高知市	10月26日(土)～ 30日(水)
国際その他	アジア競技大会	韓国・釜山市	10月1日(火)～ 7日(月)
	アジアシニア選手権大会	兵庫県・宝塚市	11月8日(金)～ 9日(土)
	ねんりんピック	福島県・会津若松市	10月19日(土)～ 21日(月)

平成14年度大会 テレビ放送予定

※放送日時については変更する場合があります。
変更については毎月の「機関誌」または放送のなかで告知されます。

放送大会名	放送日	再放送日
全日本高校選抜(1)	4月15日(月) 22:00～23:00	4月28日(日) 8:00～10:00
全日本高校選抜(2)	4月22日(月) 22:00～23:00	5月5日(日) 8:00～10:00
全日本女子選抜(1)	5月13日(月) 22:00～23:00	5月26日(日) 8:00～10:00
全日本女子選抜(2)	5月20日(月) 22:00～23:00	6月2日(日) 8:00～10:00
アジア大会予選(1)	6月10日(月) 22:00～23:00	6月23日(日) 8:00～10:00
アジア大会予選(2)	6月17日(月) 22:00～23:00	6月30日(日) 8:00～10:00
学生王座(1)	7月8日(月) 22:00～23:00	7月21日(日) 8:00～10:00
学生王座(2)	7月15日(月) 22:00～23:00	7月28日(日) 8:00～10:00
全日本実業団(1)	8月12日(月) 22:00～23:00	8月25日(日) 8:00～10:00
全日本実業団(2)	8月19日(月) 22:00～23:00	9月1日(日) 8:00～10:00
全国小学生(1)	9月2日(月) 22:00～23:00	9月15日(日) 8:00～10:00
全国小学生(2)	9月9日(月) 22:00～23:00	9月22日(日) 8:00～10:00
全国中学校(1)	9月16日(月) 22:00～23:00	9月29日(日) 8:00～10:00
全国中学校(2)	9月23日(月) 22:00～23:00	10月6日(日) 8:00～10:00
全日本選手権(1)	10月14日(月) 22:00～23:00	10月27日(日) 8:00～10:00
全日本選手権(2)	10月21日(月) 22:00～23:00	11月3日(日) 8:00～10:00
アジア競技大会(未定)	11月11日(月) 22:00～23:00	11月24日(日) 8:00～10:00
アジア競技大会(未定)	11月18日(月) 22:00～23:00	12月1日(日) 8:00～10:00
国体(1)	12月9日(月) 22:00～23:00	1月12日(日) 8:00～10:00
国体(2)	12月16日(月) 22:00～23:00	1月19日(日) 8:00～10:00
東京インドア(1)	2月3日(月) 22:00～23:00	2月16日(日) 8:00～10:00
東京インドア(2)	2月10日(月) 22:00～23:00	2月23日(日) 8:00～10:00
大阪インドア(1)	3月3日(月) 22:00～23:00	3月16日(日) 8:00～10:00
大阪インドア(2)	3月10日(月) 22:00～23:00	3月23日(日) 8:00～10:00

※なお、全日本ソフトテニス選手権大会はNHKにおいても放送予定です。(放送日未定)